

【事例部門】



■中央林間5丁目界限（中央林間）

周辺にあるそれぞれのお店では、客に親んでもらいながら個性をさりげなくアピールしている。一連の街並み、商店街として温かい雰囲気をつくり出している。



■グリーンやまとプロジェクト実行委員会（中央林間）

まちをキレイに保つという意図が看板全体に表れ、バス停風の都会的なデザインも周辺の景観にマッチしている。サインそのものが美観を損ねるものにならぬよう、さりげないデザインになっている点はよく考えられている。周辺の建物と調和がよくとれていて、わかりやすい看板としての目的を果たしている。



■株式会社ガスター（深見台）

ロゴや建物の色彩がシンプルで、スッキリした景観が周囲に溶け込んでいる。企業としてのサインのあり方が表現されている一例である。



■大和山王幼稚園（下鶴間）

子供たちの記憶に残るような個性的なサインで、やわらかで楽しい園の雰囲気がよく出ている。敷地のコーナーにマスコットを配置していることで、車の運転者に注意を促す役目も果たしてくれている。



■とうふ工房豆畑（西鶴間）

店先に自然素材を用いた広場を設け、幹線道路沿いの街並み全体に落ち着きを与えている。清潔感も感じられ、取り扱っている商品（豆腐）の品質イメージがよく表現されている。



■笹倉鉄平版画ミュージアム（上和田）

住宅地にある小さなサインで、控えめながらも一度見たら忘れられないデザインの良さがある。建物や植栽とのバランスもよく、全体としてよく考えられている。

第16回（平成23年度） テーマ「省エネ・安全性」

【事例部門】



■FLAT HOUSE cafe（中央林間）

旧米軍将校の建物をリフォームして使っており、省エネという点で大変優れている。その控え目な装いには安心にも似た温かい雰囲気を感じられ、「街の公民館」としてのにぎわいもうかがえる。大和の歴史を伝える財産の一つだろう。



■市川邸（下鶴間）

高低差をいかして作られた庭が、歩いていて楽しい景観である。周辺には同じように緑豊かな落ち着いた住宅が多く残っており、大事にしたい街並みである。



■山谷北土地区画整理事業（下鶴間）

電線の地中化など、安全性・景観への配慮が感じられ、計画的な街づくりの良い事例として評価する。今後は、周辺景観との調和などに期待したい。



■イオン大和ショッピングセンター（渋谷）

壁面緑化や太陽光パネルが設置されていて、周辺の環境や省エネに配慮された建物である。これからの時代を感じさせる景観である。

第 17 回（平成 24 年度）

テーマ「歩くのが楽しくなる街並み」

【活動部門】



■南林間西南自治会 クリーンキャンペーン（南林間）

西南自治会は清掃のみならず、ゴミの放置などについても部会で対応するなど積極的に活動されている自治会だと伺っている。今回はクリーンキャンペーンに合わせ、地区内への周知として子供たちを巻き込んだ活動がとても素晴らしかった。地区内は全体的に清潔感があり、とても心地よい空間が広がっている。これは、等自治会が積極的に活動されている成果だと思う。

【事例部門】

■大和駅東側プロムナードガーデニングプロジェクト（大和東）



大和のメインストリートで彩られている草花の演出が楽しく表現されている。それぞれの区画に工夫があり、競い合うことで一定の水準が維持されている。市民の協力により、味気なかった通りがよみがえっている。

■つるま自然の森（下鶴間）



大和市の市街化以前の林地環境(里山)が残されている。民有地ではあるが、そこを開放しているところがとてもいい。内山地区を象徴する農村風景の道を通じて、開放感あふれる空間になっている。

■上和田野鳥の森 ビオトープ（上和田）



大和市の市街化以前の林地・谷戸の環境が残されている。元の自然景観を上手く活用させ、樹木の枝の張り方などによる空間の広がり方が魅力的な事例である。

第18回（平成25年度）

テーマ「人のつながりが見える風景」

【活動部門】

■代官四丁目公園（代官）



個人のちょっとした力で思いがけない良い風景を作り出しており、育てられたひまわりや菊が無機質な擁壁を上手くカバーしている。個人での活動だが、子どもたちと一緒に花を植えるなど、地域とつながって活動している点が素晴らしい。子どもたちを巻き込みながら、自発的に楽しんでいる様子が見える。

■中央林間小学校通学専用通路 なかよし小道（下鶴間）



地域の多くの方々が協力し合い、子どもたちの安全のために作った道という点が素晴らしい。土地を提供した地権者の熱意に心を打たれた。人のつながりや住民参加の街づくりを感じられ、人の活動は高く評価できる。今後維持管理の中で植栽や安全性の確保に力を入れて活動を続けて欲しい。

■つきみ野まちづくり委員会の 活動（つきみ野）



街の景観を維持するためには植栽の管理や沿道の清掃は必要不可欠であり、この活動が街に彩りを与える大切な要素となっている。風景として地域の個性や継続的な活動をうかがうことができ、街づくりを地域全体で進めていることが高く評価できる。委員会メンバーの次代の担い手を増やしていく工夫として、「チューリップ作戦」を上手く活用して欲しい。

【事例部門】

■デイサービス ハッピー鶴間 （西鶴間）



小さな福祉施設でも街への小さな貢献ができており、これからの地域社会にますます増えていくであろう「福祉のある風景」の身の丈にあったモデルになりうる。すっきりとした外観が落ち着いた街並みにつながっており、アットホームな雰囲気や地域交流を生み出すなど、今後の街づくりの発展性を期待させる。

■石窯工房ベルベ中央林間店 （中央林間）



民間の店舗でも景観的に素晴らしい街角を作り出していることが評価できる。建物のデザインに個性を感じられ、街の上手いアクセントとなっているなど、大変魅力的な店舗となっている。オープンテラスを設置し、上手く街角を演出できているので、植栽を増やし華やかさを出すなどの工夫に期待したい。

■千本桜地区（福田）



日常の手入れと地域の人たちのこれまでの積み重ねを感じることができる。地域ぐるみの活動から、お店の地域ブランドづくりなど幅広い活動を行っている点がおもしろい。街並み、空間として1年中良好な景観に寄与し、活動の継続性も高く、人のつながりが感じられる風景となっている。

第19回（平成27年度）

第19回目となる平成27年度は、日本建築学会関東支部が主催する提案競技が大和市を対象に開催されることを受け、この提案競技のうち、写真コンクールの部と絵画コンクールの部を大和市街づくり賞の時限的表彰部門として実施、表彰を行いました。

【写真コンクールの部】 課題：「駅・まち・ひと」 / 対象者：条件なし

＜最優秀賞＞ 「駅と共に輝く市民パワー」



■氏名：佐藤 正一 氏

＜優秀賞＞ 「チューリップ作戦成功！」



■氏名：小杉 皓男 氏

＜ヤマトン賞＞ 「高座渋谷駅西口広場」



■氏名：新海 正広 氏

＜ヤマトン賞＞ 「台風が去った後の大和駅」



■氏名：多田 朱里 氏

＜ヤマトン賞＞ 「お兄ちゃんどうだっけー？」



■氏名：友野 春夫 氏

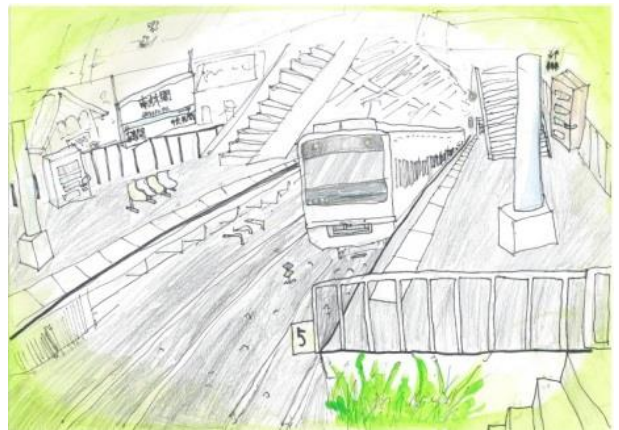
【絵画コンクールの部】 課題：「駅の近くに」 / 対象者：市内在住、在学の小学生

＜低学年の部 最優秀賞＞



■氏名：殿村 芽生 さん

＜高学年の部 最優秀賞＞



■氏名：殿村 隼矢 さん

＜低学年の部 優秀賞＞



■氏名：大木 優華 さん

＜高学年の部 優秀賞＞



■氏名：広瀬 小羽 さん

＜低学年の部 優秀賞＞



■氏名：橋場 純平 さん

＜高学年の部 優秀賞＞



■氏名：山本 紗慧 さん

<低学年の部 ヤマトン賞>



■氏名：小箱 瑛 さん



■氏名：山本 咲羽 さん



■氏名：ヲソ ティ キウ リ さん



■氏名：山下 寛翔 さん



■氏名：下田 歩実 さん



■氏名：丹野 灯 さん

<高学年の部 ヤマトン賞>



■氏名：小山田 真央 さん



■氏名：宮崎 理暖 さん



■氏名：関水 優花 さん



■氏名：伊藤 美玖 さん



■氏名：保田 翔汰 さん



■氏名：犬東 航志郎 さん



■氏名：大塚 瞬翔 さん

第 20 回（平成 29 年度）

【事例部門】



■福田 山下邸（福田）

自宅の入口を動きのあるデコレーションで演出している。ポンプ 2 台で水車とダムを造り、水の力を利用して動く仕組みになっている。デコレーションの一角ではメダカの飼育も行われている。通りがかりの人々の目を引く楽しい風景を創り出している。インパクトのある面白い空間を創り出している。手の込んだ仕掛けから、道行く人を楽しませてくれる。地域の人々のコミュニケーションを生むきっかけとなる、楽しいまちづくりの事例である。

【活動部門】

■「つきみ野十景」のスケッチ画単彩（つきみ野）

自治会のまちづくり委員会が発行する「まちづくりニュース」のコラム「つきみ野十景」は、つきみ野の日々の街の 1 カットを描いた線画作品である。街の魅力を再発見・再認識させる作品。地道な活動として評価できる。また、地域史や地域生活誌の資料としても重要であり、街の魅力を伝える有効な手法である。

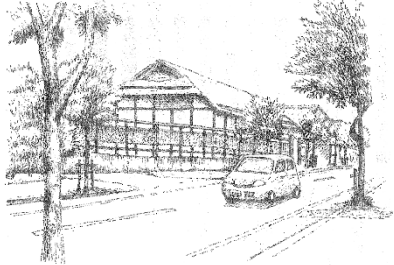


イラスト 花方幸丸（つきみ野在住）

つきみ野十景・其の 3
つる舞の里歴史資料館あたり
つきみ野七丁目、つきみ野鶴舞通りに面している「つる舞の里歴史資料館」の開館は 1999 年 8 月。既に 18 年を経ています。すっかりまわりの景観に治まり、今や鎮座している感じをも醸し出しているように見えます。外観は幕末から明治初期の農家をモチーフにし、内部は農家の庭、納屋、土蔵というイメージで設計とか。入館すると、どこかほっとする空間があります。さて今季、この「資料館」を包むようにエッジ（マメ科）の濃い緑が鶴舞通りの両側に約 200 本列を成しています。（小形）



■もみの木デイサービス・もみの木放課後等デイサービス（上草柳）

印象的な外観が目を引く新しい建物であり、1 階部分ではデイサービス、2 階部分では放課後等デイサービスになっている。また今後は、それぞれのサービスの交流も予定されている。街並みの中のインパクトある外観に加え、様々な世代の交流が活発に行われることが期待できる。建物外観もユニークで、特殊な土地形状を上手く利用している。利用者の交流発展やこのような取り組みが市内に増加することに期待する。



■渋谷二丁目保存樹林への植栽活動（渋谷）

大和市指定の保存樹林敷地内において、街に彩りを加えたいと地主の承認を得て積極的に植栽等を行っている。豊かな景観づくりに一役を果たし防犯性の向上にも貢献している。地主の承認を得てボランティアで活動をする中で、「見せる」緑の彩りある豊かな景観が生まれている。市内に点在する保存樹林のあり方について、街づくりの視点からの新たな可能性を示すものである。

